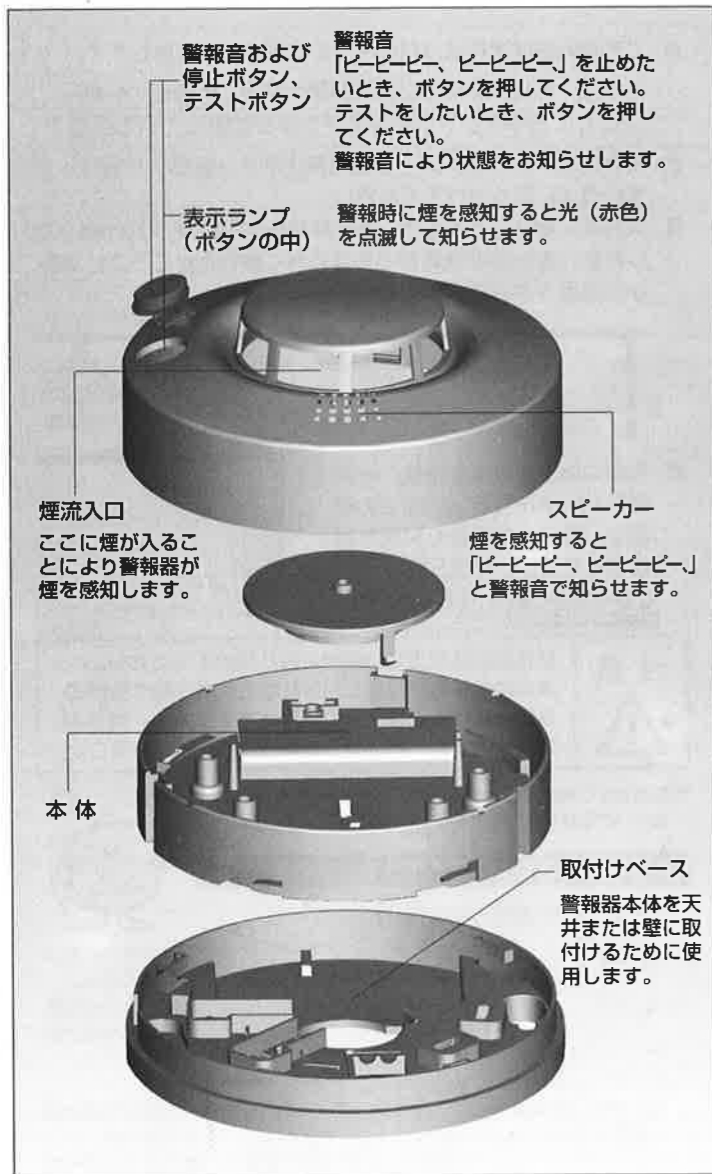


8 各部の名称と働き



9 商品のご確認

次のものが揃っているかを必ずご確認ください。

1. 警報器本体
2. 取付けベース
3. 取付けネジ (2本)
4. 取扱説明書 (本書)
5. リチウム電池 (1個) ※電池は必ず付属のものをお使いください。

仕様

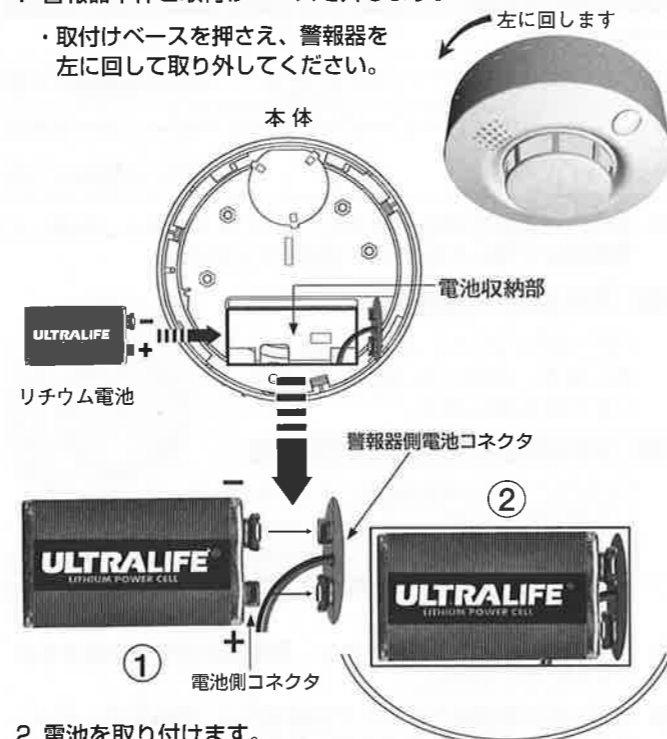
型名	KK-DS40-10
種別	光電式 住宅用火災警報器
鑑定型式番号	鑑住第18~38号
感知方式	煙感知方式 (光電式)
定格	DC 9V, 20mA (180mW)
電源	(U9VL-J 9V 1個)
機器交換の目安	約10年
試験機能	自己診断機能
音量	70dB以上 (1mにて)
外形寸法	φ108mm×47.8mm
警報器質量	約180g (電池約36.4gを含む)
使用温度範囲	0℃~40℃
復旧	自己復旧方式

*電池交換期限は使用温度やホコリなどの外部環境によって短くなる場合があります。
*仕様及び外観は改良のため予告なしに変更することがあります。

10 警報器を取り付ける前に

1 警報器本体と取付けベースを外します。

- ・取付けベースを押さえ、警報器を左に回して取り外してください。



- ① 電池側コネクタと警報器側電池コネクタを極性を間違えないように接続してください。
 - ② 警報器の裏面にある電池収納部に電池を納めてください。
- 3 取付けベース側面の凸印と警報器本体側面の凸印が合うように右に回す。

警告 電池は必ず指定の付属のものをお使いください。(付属以外のものを使用すると、故障の原因になります。)

警告 コネクタをしっかりと接続し、電池を正しく収納してください。正しく収納されていない場合、警報器が作動せず、警報音が鳴りません。(電池を取り付けた後は、必ずテストボタンを押して作動確認を行ってください。)

■電池切れの機器交換の目安は約10年です。

- ・電池切れの時は約10秒に1回「ビ」と鳴り同期で光も点滅、警報音が停止した後も光 (赤色) は電池が切れるまで約10秒間隔で点滅します。
- ・本機器側面のシールに記入の取付け日を目安にしてください。

※ 機器交換の目安は約10年ですが、屋内の温度や湿度、ホコリなどの環境によって使用期間が短くなる場合があります。

保証規定

- 1 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 2 通常のお取り扱いにおいて、保証期間内に万一故障した場合の修理は無償です。
- 3 保証期間内においても、次のような場合は修理は有料となります。
 - 1) お取り扱いの誤りによる故障または損傷
 - 2) 不適当な改造や修理による故障または損傷
 - 3) お取引後の輸送、移動、衝撃による故障または損傷
 - 4) 水害地震落雷など天災による損傷
 - 5) 保証書の紛失、またはご提示のない場合
 - 6) 保証書の所定事項の記載漏れ、または字句を書き換えられた場合
- 4 保証期間が経過したとき、または保証の適用除外故障でも修理が可能な場合は修理いたします。この場合は実費負担となります。

11 警報器の取り付け方法

警告 取り付けは高所作業となります。転倒・落下の危険があります。足下を安定して慎重に行ってください。

警報器は次の手順に従って取り付けしてください。

必ず警報器本体の側面に貼り付けてあるシールに設置年月日を記載してください。

[天井に取り付けるとき]

手順 ① 天井面の梁が通っている (補強材のある位置) 場所に、取付けネジで取付けベースをしっかりと固定してください。

手順 ② 本体の底面部分を取付けベースに当て、ベースの凸印と本体の凸印が合うように本体が止まるまで右に回してください。

[壁に取り付けるとき]

手順 ① 壁面の柱などが通っている (補強材のある位置) 場所に、向きを間違えないようにテストボタンが下になるよう取付けネジで取付けベースをしっかりと固定してください。

手順 ② 警報器の警報音停止、テストボタンが下になるように取付けベースと合わせ、止まるまで右に回してください。

[壁にかけて取り付けるとき]

手順 ① 本体と取付けベースを組み合わせた状態で取付けます。テストボタンは上になります。(製品出荷時は取り付けられています。)

手順 ② 取付けネジを壁の途中までねじ込んでください (ネジ頭と壁の間が2~5mmの範囲になるまでねじ込んでください)。取付けベース背面にある取付け穴に、ネジ頭を引っかけてください。

アフターサービスについて

- 1 この商品には保証書 (取扱説明書) が付いています。お買い上げの販売店で所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 2 保証期間はお買い上げ日より1年間です。万一故障した場合は内部機構をさわらずにお買い上げの販売店に修理をお申し付けください。保証規定により修理致します。
- 3 アフターサービスについてご不明の点、その他当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、または下記 **マックス株式会社** フリーダイヤル **0120-228-481** までご連絡ください。

警報器廃棄について

この商品を廃棄する際は、市区町村によって定められたルールに従ってください。(電池はリチウム電池を使用しており、水銀は含まれていません。)

取扱説明書 保証書付

日本消防検定協会 鑑定合格品

MAX

自動試験機能付
光電式 住宅用火災警報器 (屋内専用)

かないあんぜん
火無安全®
煙式 KK-DS40-10
電池式10年タイプ



- この度は、本警報器「火無安全」をお買い上げいただきありがとうございます。
- ご使用にあたり、必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しい使い方をお願いいたします。
- なお、本取扱説明書は保証書も兼ねています。いつでもお読みいただけるところに大切に保管ください。

- この商品は、初期火災時の煙をキャッチし、ただちに警報音で知らせる住宅用火災警報器です。お取り付けいただいた部屋、廊下などの屋内の部分的な警戒になります。
- 万一の火災に備えて、一室で一個、複数の部屋にお取り付けいただくことでより効果があります。
- この商品は警報機能をもっていますが火災防止器ではありません。火災などによる損害については責任を負い兼ねます。
- この警報器は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品です。(ただし、消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません)

保証書

製品番号 **KK-DS40-10**

保証期間 **本体 1年間**

お買い上げ日 年 月 日

お客様 ご住所

お名前 様

電話 ()

販売店 住所・店名

電話 ()

MAX マックス株式会社

本社〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

東京 TEL (03) 3669-8123 (代) 大阪 TEL (06) 4803-1536 (代)
名古屋 TEL (052) 935-8531 (代) 福岡 TEL (092) 411-5418 (代)
広島 TEL (082) 291-6331 (代) 札幌 TEL (011) 261-7141 (代)
仙台 TEL (022) 216-4121 (代)
ホームページアドレス <http://www.max-ltd.co.jp>

1 安全上の概要

この取扱説明書の中で使用している「警告」「注意表示」などの基準は、以下の通りです。

警告 	誤った取り扱いをした時、取扱い関係者が重傷を負うかまたは死に至る危険性が高いと想定される場合を表しています。または警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合を示しています。
注意 	誤った取り扱いをした時、取扱い関係者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合を表しています。または警報機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合を示しています。

2-1 特徴と使用上の注意

1 本警報器は、初期火災で発生する煙を素早くキャッチし、警報音と光(赤色)で知らせる住宅用火災警報器です。火災発生の際には「ピーピーピー」(約4秒間隔)という鋭い警報音と警報音にあわせて光(赤色)の点滅で火災の危険を知らせます。

■ この警報器は煙をキャッチして警報音を発しますが、直接煙が入らない場合は作動しません。また、次のような場合は火災を検知できない恐れがあります。

- 火のまわりの早い火災
- ガス漏れ、薬品火災、電気火災、それらに伴う爆発的な火災
- 煙の発生しない火災

■ この警報器は、お取り付けいただいた場所近くでの煙には作動して火災警報をお知らせしますが、他の部屋などで発生した煙には警報を発しないことがあります。

2 警報器の機器交換は機器異常警報音でお知らせします。機器異常警報音「ピピピ」(約35秒間隔)及び同期の光(赤色)の点滅した時は必ず機器交換をしてください。

3 電池切れの機器交換の目安は約10年。

■ 電池切れの時は約10秒に1回「ピ」と鳴り同期で光も点滅、警報音が停止した後も光(赤色)は電池が切れるまで約10秒間隔で点滅します。

■ 本警報器は、電池で作動しています。約10年間の機器交換の目安まで電池交換なしでご利用いただけます。

※ 機器交換の目安は約10年ですが、屋内の温度や湿度、ホコリなどの環境によって使用期間が短くなる場合があります。

注意 	警報器が約35秒に1回「ピピピ」、または約10秒に1回「ピ」と鳴動し警報音にあわせて光(赤色)が点滅している時は、必ず警報器を交換してください。
注意 	機器交換の目安を越えて使用すると、ホコリや汚れなどにより内部に煙が流入しにくくなり、火災発見が遅れる危険性があります。10年を経過した警報器は、ただちに新しい警報器と交換してください。

4 本警報器は自動試験機能を備えています。

本警報器が正常に煙りを監視できなくなった場合、自動的に異常をお知らせします。④の自己診断・テスト方法を参照。

5 本警報器は屋内型であり、屋外では使用しないでください。

■ 日頃、人のいない部屋に設置する場合は警報音が聞こえるかどうかを確認しておいてください。次のような場合、警報音が聞こえないことがありますので、ご注意ください。

- 就寝中、薬を服用していたとき
- 酒を飲んで就寝したとき
- ドアを閉め切っているとき
- 車の往来、ステレオ・ラジオ・テレビ・エアコンなどの音が大いとき

2-2 使用上の注意 故障の原因となります。

- 次のような取り扱いをしないでください。故障の原因となります。
- 取付けベース内部の端子部に金属棒などを差し込まないでください。
- 本警報器を分解・改造しないでください。
- 本警報器を落下させたり衝撃を与えないでください。

3 本警報器が火災警報音「ピーピーピー、ピーピーピー、」(約4秒間隔)を発し、警報音にあわせて光(赤色)が点滅している時

警報器が煙を検知すると、上のような警報音と光の点滅で知らせます。

1 火災の場合

★ 火元を確認し、119番へ連絡するなど適切な処置を行ってください。すみやかに避難してください。

2 火災でない場合

★ 火災以外の原因でも、次のような場合には警報音が鳴ります。その際、警報音停止ボタンを押すか、室内を換気するかすれば自動的に警報音が止まります。あわてて警報器を外したり、電池を抜いたりしないでください。

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどが直接かかったとき
- タバコの煙を直接警報器に吹きかけたとき
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかったとき
- 線香や蚊取り線香などの煙がかかったとき
- 燻煙式の殺虫剤などの煙が高密度になったとき

警告 	警報器が「ピーピーピー、ピーピーピー、」と約4秒間隔で鳴動したとき、電池を外さないでください。警報音停止ボタンを押せば警報音は止まります。煙流入口に煙が残っている場合、5分後再び警報音が鳴ります。換気などを行えば、警報音は自動的に止まります。(自動復帰機能付き)
---------------	---

警報音を止めるには



- 1 警報器が「ピーピーピー、ピーピーピー、」(約4秒間隔)と鳴動しているときは警報音停止ボタンを押してください。警報音が停止します。
- 2 警報音が停止しても光(赤色)は(約4秒間隔)で点滅しています。
- 3 5分経過して光(赤色)の点滅が停止し警報音も鳴らない場合は本警報器は自動監視状態に復帰しています。5分以上経過して再度、警報音が鳴動する場合は、煙流入口に煙がまだ残っています。うちわなどで風を送り、煙を排除してください。煙が無くなれば自動監視状態に復帰します。
- 4 自動監視状態に復帰後、警報器が正常に機能するか必ず④テストボタンで確認してください。

4 自己診断・テスト方法(自動試験機能)

音による識別(音と同期の光(赤色)の点滅)	
● テストの場合	「ピーピーピー」(1回)
● 正常でない場合	「ピピピ」(約35秒間隔に1回)
● 火災警報の場合	「ピーピーピー、ピーピーピー、」(約4秒間隔)
● 電池切れの場合	「ピ」(約10秒間隔に1回)

■ 取り付け後は定期的(1ヶ月に1度)にテストボタンを押して、警報器が正常に作動するか確認してください。

■ 正常な場合

「ピーピーピー」と1回 警報音が鳴ります。同時に光(赤色)も連動して1回点滅します。

■ 警報器が正常でない場合は

「ピピピ」(約35秒間隔に1回)という警報音と同期した光(赤色)の点滅でお知らせします。このような場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

- 3日以上留守にされたときは、警報器が正常に作動するかテストしてください。
- 煙流入口に直接煙を入れて試験を行い、警報音停止ボタンにより警報音停止したときは、約5分間テストができなくなります。

警告 	テストや点検時には高所作業となります。転倒・落下の危険があります。テストや警報音停止ボタンを押すときは、足下を安定して行ってください。
---------------	---



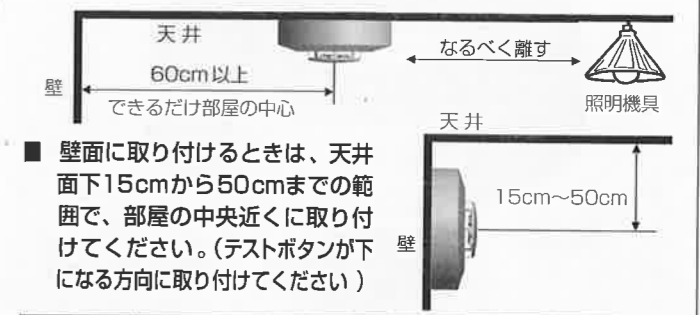
5 故障かな?と思ったら

警報器の症状とその原因、対処について下表に示します。下記の対処を行っても直らない場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

症状	原因	対処
「ピ」と約10秒間隔に1回警報音が鳴る。警報音と同期の光(赤色)の点滅	機器交換の目安(電池切れ)または警報器の感度劣化です。機器交換の目安は約10年ですが、温度や湿度、ホコリなどの外部環境により短くなる場合があります。	新しい警報器と交換してください。新しい警報器の購入はお求めの販売店へお申し付けください。
「ピピピ」と約35秒間隔に1回鳴る。警報音と同期の光(赤色)の点滅	電池が接続されていません。または警報器の故障が考えられます。	電池コネクタが正しく接続されているか確認してください。または故障とおもわれる場合は求めの販売店へご連絡ください。
火災でもないのに警報音が鳴る。	火災以外の煙(ホコリ、殺虫剤など)を警報器がキャッチしています。	警報音停止ボタンを押すか、警報器内の煙がなくなるまで5分お待ちください。また火災以外で警報音が多発する場合は、取付け場所を変えてください。

6 警報器の取付け場所と注意

- この警報器は次のような場所への設置をおすすめします。
 - 寝室
 - 階段の降り口の天井面や廊下
 - 居室
 - 台所(とくにお年寄りや小さなお子さまが就寝している部屋)
- 警報器のテストボタン(警報音停止ボタン兼用)が操作しやすい位置に取り付けてください。
- 天井面に取り付ける場合、壁や角から水平距離60cm以上離します。また照明器具からもなるべく離れたところで、なおかつ部屋の中心近くが望ましい。



注意 	警報器は必ず正しい場所に取り付けてください。次のような場所に取り付けた場合、誤作動や故障の原因になり、正常に火災を警報できません。商品の落下を防ぐ為、補強材のある位置に取り付けること
---------------	---

※設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村が定める火災予防条例を確認してください。

次のような近くには取り付けしないでください。

- 空気の流れが激しい場所。換気扇や扇風機、エアコンの近くやすきま風の強い所。ホコリチリなどが煙検知部から入りやすく、感度が鈍くなる恐れがあります。換気扇などは1.5m以上離してください。
- 天井の梁(はり)や垂れ壁の近く。天井の梁が垂れ壁から60cm以上離してください。
- 照明器具の真上および近い所。煙を妨げる恐れがあります。
- レンジや暖房器具などの燃焼性粒子の発生する場所。および蒸気や排気ガスなどがかかる所。ダイニング、調理場、ガレージ等。
- 常時、温度や湿度の高い場所。浴室内や水のかかりやすい所や水滴がつきやすい所。
- タンスやキャビネットなど家具の真上から60cm以上離してください。
- 取付場所の温度が0℃を下回る、あるいは40℃を超える所。

7 お手入れ方法

1年に一度は、水または石けん水を布に浸してよく絞り、警報器の汚れを拭き取ってください。この際、内部に水が侵入しないよう、また、煙流入口に触れないように注意してください。なお、煙流入口に著しい汚れが付着している場合は、火災を検知できない恐れがありますので、機器を交換してください。

警告 	警報器を水洗いしないでください。また、中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジンやシンナーおよびアルコールは使用しないでください。故障の原因になります。
注意 	警報器は精密に調整されていますので、改造や分解をしないでください。正常に作動しなくなる恐れがあります。